

# 図書館総合展 2024

## ●日程と会場

### 会場開催：

11月5・6・7日（火・水・木） 10:00～18:00  
パシフィコ横浜\_ホールC、アネックスホール  
（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

### オンライン開催：

11月16日（土）～24日（日）

<https://www.libraryfair.jp/>

webinar や動画配信などを通じ、たくさんの講演会・ディスカッション・ワークショップ等が催されます。

●参加： 会場入場、オンライン参加とも無料。会場内イベントは一部を除き参加無料。アカウントへの登録ですべてのオンラインコンテンツが見られるようになります。

●主催： 図書館総合展運営委員会

●後援： 総務省／文部科学省／経済産業省／国立国会図書館／国立公文書館／科学技術振興機構／国立情報学研究所／神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／日本図書館協会／図書館振興財団／専門図書館協議会／神奈川県図書館協会／神奈川県資料室研究会／国立大学図書館協会／私立大学図書館協会／国公私立大学図書館協力委員会／全国学校図書館協議会／公立大学協会図書館協議会／私立短期大学図書館協議会／音楽図書館協議会／日本医学図書館協会／日本薬学図書館協議会／日本農学図書館協議会／日本書籍出版協会／知的資源イニシアティブ／石川県図書館協会／長野県図書館協会／大阪公共図書館協会／東京都図書館協会／埼玉県図書館協会／山梨県公共図書館協会／奈良県図書館協会／長野県図書館協会／愛知県図書館協会／福井県図書館協会／島根県図書館協会／広島県公共図書館協会／鹿児島県図書館協会／新潟県図書館協会 \*順不動 2024年9月11日現在

●企画・運営： 株式会社カルチャー・ジャパン

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル701  
TEL：03-6627-2411

本展は、図書館業界のトレードショーまた図書館関連の交流会の場として1999年に始まったものです（年1回秋開催。ほか1-2日イベントを各地で開催）。公的機関・諸団体また研究者・NPOや学生などからの出展や発表、また隣接領域である出版・情報・教育方面からの出展が増え続けたことで、「館種や立場を超えた参加のある、図書館界最大の情報交換の場」との評を各方面からいただき今に至ります。この趣旨性格を担保するため、図書館員・研究者・出展団体代表等で本展運営委員会を構成し、企画と運営を行っています。

## ◆開催目的

- ・館種と立場を超えた図書館界全体の交流・情報交換の場を提供する。
- ・図書館または隣接周辺分野に関するトピック・技術・製品サービス情報について<1年分のまとめ>の役割を担う。
- ・図書館界にくる新しい方々・団体にとってのガイダンスとなる。
- ・もって図書館界全体の振興と発展に寄与する。

## ◆運営

- ・運営経費は、すべてを出展者からの出展費用によって賄う。参加者から参加料は徴取しない。
- ・運営事務は株式会社カルチャー・ジャパンが行い、運営方針や実施企画の決定は上記の運営委員会で行っている。
- ・図書館にかかる諸官庁、機関、団体から後援を受け、本展運営にあたっては、後援団体が後援にあたって求める規範に遵っている。

## ◆出展者

学術研究機関、関連学協会、図書館及び博物館の設立・運営に関連する企業（出版、印刷・製本、建築・設計、各種設備・備品・用品・装備、情報・経営管理システム関係及びソフト、通信、教育IT、人材派遣など）

## ◆来場者

来場者層：小学・中学・高等学校図書館、大学・短大・高専図書館、公共図書館、専門図書館、研究機関、博物館、文書館等の関係者、司書、司書教諭、学校司書、学芸員、教職員、行政職員、地方議員、図書館情報学研究者、図書館関連及び一般企業、学生、各館種図書館利用者

みなさまのご来場、ご参加をお待ちしております。  
まずは公式webサイトからアカウントにご登録を。  
<https://www.libraryfair.jp/>

# 【会場イベント一覧】各イベントは一部を除き参加無料

- ・会期中の会場内では、連日たくさんの様々な講演・ディスカッション・ワークショップ等が開催されます。
- ・参加に事前申込の必要なものが多いので、時間割とwebサイトにある各紹介ページでご確認のうえ、お早目のお申込みをおすすめします。

## ■ フォーラム 11月5日 (火)

	10:30 ~ 12:00	13:00 ~ 14:30	15:30 ~ 17:00
第1会場 アネックス	まちのために図書館が出来ること —敦賀市ちえなみさと丸岡市図書・情報館で何が起ったか— ●丸善雄松堂株式会社	図書館DXを実践へ ～変革を起こす実践の現場から～ ●京セラコミュニケーションシステム株式会社	著者・出版社・図書館による読書バリアフリーへの挑戦 ●図書館総合展運営委員会
第2会場 アネックス	これからの図書館を語る ～図書館からの発信～ ●(株)図書館流通センター	軽自動車の移動図書館車LiBOON 地域の未来を拓く移動図書館の可能性 ●(株)図書館流通センター	生成AIと図書館： その初歩から最先端まで ●主催：(株)ライブラリー・アカデミー 共催：(株)図書館流通センター
第3会場 アネックス		電子リソース管理はどうしてる？ —ERMSの今とこれから(仮題)— ●株式会社サンメディア	
第4会場 アネックス		AIの実現とリスク、可能性、 図書館の未来 言語世界と人間性の深化へ ●図書館総合展運営委員会	こんなときどうする？知的・発達障害のある利用者を図書館へ迎えるためのQ&A ●主催：(社)福)埼玉福祉会 共催：(株)図書館流通センター
第5会場 アネックス		学術コミュニケーションの 動向瞥見 2022-2024 ●図書館総合展運営委員会	刺さる！刺さらない？図書館イベント考～心を掴む企画・告知術10の極意～ ●図書館サービス計画研究所
第6会場 アネックス		図書館等の災害アーカイブ資料 を教育等でどう活用するか(仮) ●図書館総合展防災関係出展 チーム	
第7会場 展示会場 2F	図書館をつくる人々 —ライブラリーアーキテクトの実像2— ●図書館総合展運営委員会	開かれた未来へ、共に歩む。OA 義務化と図書館員の新しい役割 ●丸善雄松堂株式会社	
第8会場 展示会場 2F		図書館—<天使>の棲むところ— W. ヴェ ンダースとA. キーファーを手掛かりに ●株式会社キャリアパワー	((仮)読書がつながり出会いが 学生に何をもたらしたか。 先輩から後輩へ(共読ライブラリー)13年目の継承力 ●帝京大学メディアライブラ リーセンター
第9会場 展示会場 2F		ちょっと寄り道ドキドキワク ワク 湘南工科大学附属高等学校 HABITAT の挑戦 ●神奈川県図書館協会	

## ■ フォーラム 11月6日 (水)

	10:30 ~ 12:00	13:00 ~ 14:30	15:30 ~ 17:00
第1会場 アネックス	図書館と書店の連携における、「本のある場」の可能性を探る ●丸善雄松堂株式会社	オープンサイエンスを社会につなぐために—国立国会図書館の取組を踏まえて— ●国立国会図書館	図書館総合展落語会 2024 ●図書館総合展運営委員会
第2会場 アネックス		「地域の触媒となる図書館」 基調講演と事例報告 ●(株)図書館流通センター	公共図書館と大学図書館による電子図書館運 携—茨木市と追手門学院の事例から全国へ— ●(株)図書館流通センター
第3会場 アネックス	オープンアクセス加速化事業 中間報告会(仮) ●オープンアクセスリポジトリ 推進協会(JPCOAR)	JPCOAR フォーラム (企画調整中) ●オープンアクセスリポジトリ 推進協会(JPCOAR)	ドイツと日本におけるRDM に関する専門知識の構築(仮) ●オープンアクセスリポジトリ 推進協会(JPCOAR)
第4会場 アネックス		U40 Session リ・ボーン / 新 生 図書館を開き、次世代をいち早く受け入れる ●図書館総合展運営委員会	
第5会場 アネックス	10:30 ~ 12:30 「本のおどろぐばこのりを使った糸綴じの 手帳を作ろう」 ●キハラ株式会社	14:30 ~ 16:30 「本のおどろぐばこのりを使った糸綴じの 手帳を作ろう」 ●キハラ株式会社	
第6会場 アネックス		変革する図書館、自治体の 新しい取組の最新事例！ ～デジタル田園都市国家構想交付金申 請による自治体、図書館の町民サービ スのさらなる有効活用事例のご紹介～ ●株式会社内田洋行	
第7会場 展示会場 2F	シェア本棚は自己表現の場？ —市民参画型図書館のユートピアになり得るか— ●日本事務器株式会社	YAの読書を地域で支える ～司書のイチオシ本から広がる読書の輪— ●みちねこステーション	シンポジウム 音楽図書館協 議会の「これまで」と「これから」 創立50周年を超えて ●音楽図書館協議会
第8会場 展示会場 2F	ウィキメディア・ムーブメン トの今 世界で、日本で、GLAM との協働事例 ●門倉百合子 / ウィキペディ ア展覧会	「論語と算盤オンライン」を 使ってみよう！ <small>※深沢一(論語と算盤)がスマホやパソコンで読めるデジタルアーカイブをご紹介！</small> ●公益財団法人 深沢栄一記念 財団 情報資源センター	わが国の学術コミュニケーション を支える新たな共同体の誕生 UniBio Press から ScholAgora へ ●特定非営利活動法人 UniBio Press
第9会場 展示会場 2F	図書館DXの“本丸”はコレ クションの拡充と活用！ <small>※開館から10年「開館から10年」の祝いの機会、来館と生業の両方、役割に向けてデジタル化の進捗</small> ●TRC-ADEAC 株式会社	図書館サービスを解決する DXの次の一手！ AI探索・広域サービスを例として～図書館の挑戦～ ●図書館サービス向上委員会 (りぶる)	「盲学校でマジックショーを！」 の著者に訊く ●図書館総合展運営委員会

- ・第1～第6会場はアネックスホール、第7～第9会場は展示棟2階、スピーカーズコーナーは展示会場内（ホールC内）にあります。
- ・このほか、展示会場内各ブース内でもイベントが多々企画されます。詳細はwebサイトで。

## ■ フォーラム 11月7日（木）

	10:30～12:00	13:00～14:30	15:30～17:00
第1会場 アネックス	Library of the Year 2024 最終選考会  ●NPO 法人知的資源イニシアティブ (IRI)	政令市図書館政策プレサミット  ●政令市図書館政策サミット委員会	書店・出版社に学ぶ図書館の品揃え～欠本調査って知っていますか？～  ●公益社団法人日本図書館協会
第2会場 アネックス	図書館で本を買う？TRCと日販の新プロジェクト！  ●(株)図書館流通センター		認知症と図書館サービスを問いなおす  ●(株)図書館流通センター
第3会場 アネックス	図書館・博物館のOpen化を推し進めるために  ●次世代型文化施設フォーラム / OpenGLAM JAPAN	図書館総合展で博物館を語る  ●図書館総合展運営委員会	博物館学芸員 vs 図書館司書～本気の“越境”を目指して  ●図書館総合展運営委員会
第4会場 アネックス		第8回全国学生協働サミットフォーラム 仲間と出会ってアイデアを深める場として  ●図書館総合展運営委員会	
第5会場 アネックス		グローバル人材育成と大学図書館の役割  ●エルゼビア・ジャパン株式会社	ゲームと教育+ゲーミング図書館アワード2024 <small>従来よりも多岐にわたるゲームジャンルに、2024年度最優秀のゲーミング図書館を決定し、表彰します！</small>  ●ゲーミング図書館アワード実行委員会
第6会場 アネックス	CiNii Research: 統合と展開  ●国立情報学研究所	JAIRO Cloud でオープンアクセスを実践しよう！  ●国立情報学研究所	
第7会場 展示会場2F	図書館でゲームの利用に関する著作権問題について <small>ボードゲーム、デジタルゲームを図書館で利用してもらうには</small>  ●図書館とゲーム部	未来の大学図書館を考える2024 <small>世界の先進事例を通して知る、図書館のこれから</small>  ●丸善雄松堂株式会社	ブレインテック ユーザー研究会 2024  ●株式会社ブレインテック
第8会場 展示会場2F			
第9会場 展示会場2F	ここから始まる2050年の図書館  ●日外アソシエーツ株式会社	図書館が支える子どもたちの学び デジタルアーカイブの学校教育利活用  ●TRC-ADEAC 株式会社	ネオシリウス・ユーザーフォーラム 2024  ●日本事務器株式会社

## ■ スピーカーズ・コーナー

### 11月5・6・7日（火・水・木）

	11月5日（火）	11月6日（水）	11月7日（木）
10:00～10:15	運営委員会企画	運営委員会企画	運営委員会企画
10:45～11:30	読みづらさをかかえる方へ一本にはいろいろなアプローチがあります  ●筑波技術大学読書バリアフリーコンソーシアムテクノロジーハブ	図書館のリンクワーカーって何？～本と人、人と人とをむすぶ試み～  ●opSoL (本のとまり木)	司書さんたちの句歌会：披露および表彰式  ●司書さんの句歌会準備会
12:00～12:45	神奈川県資料室研究会 会員交流サロン  ●神奈川県資料室研究会	【英語と子どもを笑顔でつなぐ】英語読み聞かせボランティア養成  ●かぞく英語研究所英語ソムリエアカデミー	絵本専門士の絵本トークライブ  ●絵本専門士ユニット Eighth color
13:15～14:00	本がつくる、キミの未来のものごと  国境を越えて「本の飢餓」を解決する国際協力NGOの活動～みんなでラオスの輪廻りを踏ろう！ ●特定非営利活動法人エファジャパン	研究者制作・監修！防災パネル展示  ●防災科学技術研究所 自然災害情報室	ヒーローお話し会 & ミニショー  ●本のヒーロー ダクシオン
14:30～15:15	図書館員のリカレント教育～学校図書館を中心に～  ●八洲学園大学	フランスの本と図書館のダイナミズム  ●フランス大使館	(共読サポーターズ) 帯づくりワークショップ②  目次読書で本の帯を作ろう！  ●帝京大学メディアライブラリーセンター
15:45～16:30	JPCOAR スピーカーズコーナー (企画中)  ●オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR)	(共読サポーターズ) 帯づくりワークショップ①  目次読書で本の帯を作ろう！  ●帝京大学メディアライブラリーセンター	社会教育士ってなあに？～司書と社会教育士  ●みちねこステーション
17:00～17:45	公益財団法人 大宅壮一文庫 雑誌記事索引とサービス紹介  ●公益財団法人大宅壮一文庫	絵本と演劇で紛争を止める  ●Peace Cell Project	書店減少は書籍流通革命の始まりか？～急増するシェア書店全国調査結果発表～  ●図書館サービス計画研究所

■ オンライン2期〈11月16日（土）～24日（日）〉のイベントについては、公式webサイトの [イベント] > [カレンダー] から日程と内容をご覧ください。

図書館総合展2024

# あなたも使える 専門図書館2024

公開専門図書館  
大募集!

## 「あなたも使える専門図書館」とは？

2016年から続く、図書館総合展の特集企画で、全国の公開型専門図書館の情報を集約し、その存在を多くの人に知ってもらうための展示企画です。2024年は、2019年以来となる展示会場(パシフィコ横浜)内パネル展示と資料配布を実施します。

毎回多くの図書館関係者から注目される本展示に、ご参加いただける専門図書館を募集します。

### <企画概要>こんなにあります！あなたも使える専門図書館2024

- 主催：図書館総合展運営委員会
- 協力：(株)ブレインテック
- 後援：(公社)日本図書館協会
- 対象：一般公開(※1)されている専門図書館(※2) ※1 限定公開も可 ※2 各種団体の施設内図書室、資料室も可
- 参加費用：無料
- 展示内容：オンライン展示と会場展示を予定

① オンライン展示：図書館総合展公式サイトの特設ページに参加館の「図書館情報」と「写真」を一覧で掲載(2024年11月初旬～)

※オンライン展示(図書館総合展公式サイト上)は、会期終了後もアクセス可能です。

② 会場展示：図書館総合展2024展示会場で、パネル展示とパンフレット配布(2024年11月5日～7日)

※パネルは定型レイアウトで、参加申込時に入力いただいた「図書館情報」と「写真」をもとに主催者が作成します。  
※パンフレットは、1館あたり1種類(原則)、各100部程度をご用意ください。詳細はお申し込み後にご案内します。

● 申込方法：図書館総合展Webサイトよりお申し込みください。  
<https://www.libraryfair.jp/news/2024-06-17>

● 申込期限：2024年10月15日(火)

※掲載内容検討等のため、期限までに申込フォームの送信が完了できない場合は、先に下記のお問い合わせ先メールアドレスにご連絡ください。



あなたも使える専門図書館  
(図書館総合展2019)展示会場の様子



展示パネルのイメージ



オンライン展示のイメージ

オンライン  
参加者  
募集  
説明会

本企画に参加を検討される図書館の皆様を対象に、「参加者募集説明会」をオンライン(Zoom)で開催いたします。お気軽にご参加ください。皆様のご参加をお待ちしています。(説明会の申込も上記QRコードから)

7月4日(木)

7月18日(木)

※終了後に個別質問時間を設けます。

録画  
公開中

### こんな方におすすめです

- 興味はあるけど、一人職場なので負担が大きいのではないかと心配(具体的に何をすればいいか知りたい)
- 自館を専門図書館と名乗って参加してよいかどうかわからない(参加資格があるかわからない)
- これまでに参加した専門図書館の人の話を聞きたい(参加する意義や効果を知りたい)

## 展示参加ガイド

※以下が、申込フォームでお送りいただく内容です。

### 展示内容1:パネルの内容

図書館総合展(パシフィコ横浜)の会場で展示するパネルの掲載内容は以下の通りです。

※「\*」のついた項目は必須項目です。

- ① 図書館名(1) 1行目に記載する図書館名
- ② 図書館名(2)\* 2行目に記載する図書館名
- ③ 図書館のキャッチフレーズ\* 「20文字以内」で、特徴を完結に表現したもの
- ④ 図書館所在地\* 例)東京都新宿区坂町X-X-X
- ⑤ 開館(室)日時\* 例)開館時間:10:00~17:00、休館日:土曜、日曜、年末年始 他

⑥ 写真3枚 図書館の外観や館内の様子、特徴的な資料などの写真

※写真は、申込フォーム送信後に、連絡窓口のメールアドレス宛にお送りください(件名に図書館名を記載していただくをお願いします)。

※写真を使用する場所:公式サイトでのオンライン展示、および会場に展示するパネル作成に使用。

※1画像あたりのアップロードできるサイズ上限は10MBです。

※レイアウトの都合上、各画像の縦横比は1:1のものを推奨します。それ以外の縦横比の画像をお送りいただいた場合、全点を掲載できない、またはトリミング加工させていただく場合があります。



### 展示内容2: Webページのみに記載する内容

※パネルと重複する項目についてはパネルと同じ内容を記載します。

- ⑦ 図書館のURL\* 見出しの図書館名部分がリンクになります。
- ⑧ 図書館の電話番号\*
- ⑨ 図書館の利用条件\* 利用にあたり、利用目的、利用者の属性等に制限がある場合はご記入ください。特になし場合は「特になし」とご記入ください。
- ⑩ 図書館の概要紹介\* 100文字前後で図書館の特徴について簡潔に説明してください。  
※文中にハイパーリンクを入れたい場合は以下のように記載してください。  
例)あいうえおかきくけこ という文章の、「あいうえお」の部分をリンクにする

【リンク】あいうえお(https://XXX.XXX)かきくけこ

※改行等は使用できません。

### 展示内容3:パンフレット等の送付

展示会場でのパンフレットにご協力いただける場合は、1館あたり1種類、100部程度をご用意ください。送付期限は10月下旬を予定しており、送付先詳細はお申し込み後に別途ご案内します。

北海道

アスコロ アイヌイロマケル カンピシノスオ トンブ

国立アイヌ民族博物館ライブラリ



アイヌ文化についての「開かれた専門図書室」

〒001-8501 北海道札幌市中央区南一条西3丁目3番1号

TEL: 011-842-3014

利用条件(ウェブサイトに掲載)

図書館の概要(アイヌ文化や歴史の本を中心とした「開かれた専門図書室」です。展示等を通してアイヌ文化に関する世界の最先技術についての本を展示、幅広い世代の方へ向けます。)

利用条件(ウェブサイトに掲載)

図書館の概要(アイヌ文化や歴史の本を中心とした「開かれた専門図書室」です。展示等を通してアイヌ文化に関する世界の最先技術についての本を展示、幅広い世代の方へ向けます。)

図書館の概要(アイヌ文化や歴史の本を中心とした「開かれた専門図書室」です。展示等を通してアイヌ文化に関する世界の最先技術についての本を展示、幅広い世代の方へ向けます。)

茨城

国立研究開発法人防災科学技術研究所

自然災害情報室



オンライン展示のイメージ

● お問い合わせ先: 図書館総合展2024「あなたも使える専門図書館」受付窓口(長沖・関) [lf.splib@gmail.com](mailto:lf.splib@gmail.com)